

研究構想シート		学校名	松江市立古志原小学校
		氏名	大道 智弘
A 研究主題 学ぶ楽しさを実感する子どもの育成 ～見方・考え方を自ら働かせながら解決に向かう授業の実践を通して～			
B 研究の目的 国語科、生活科、道徳において、見方・考え方を働かせながら解決に向かう子どもを育成するための学習展開のあり方を明らかにする。			
C 子どもの実態  ○ 文字による表現に苦手さがある。  ○ 友だちの発言に対する賛同や反対質問などがタイムリーにできにくく、話し合いが深まりにくい。  ○ 各教科において、目的意識をもって話したり聞いたりすることが十分にできていない。  ○ 学級や学校の課題に合わせた係活動や委員会活動における活動のアイデアが出にくい。	E 手立て・内容（研究仮説）  ○ 見方・考え方を明示した対話による学び合いの工夫  ○ 多面的・多角的にものごとをとらえ、話し合うための工夫。		D めざす子どもの姿  ○ 見方・考え方を働かせて、問題を見つけられる子ども  ○ 見方・考え方を働かせて、協働して問題解決に向かうことができる子ども  ○ 学んだことを文字で表現することができる子
	F 検証方法  ○ 授業における児童の変容の分析  ○ 児童アンケートの分析  ○ 研究授業の分析		
	G 研究計画  ○ 「見方・考え方」について、みんなで考える研究職員会議の実施  ○ 研究教科ごとに、それぞれの見方・考え方について考える研究職員会議の実施。  ○ 研究教科ごとに見方・考え方を働かせた研究授業のための単元構想や授業案の開発  ○ 単元案に基づいた研究授業の実施  ○ 今年度の研究を振り返る。		